

明らかになったシステムの全貌!
初心者とマニアの両方を満足させる
欲張りなコンテンツが盛りだくさん!!



発売を目前に控えた今回は、ゲームシステムの詳細や登場マシン、コースなど、あらゆる角度から情報をお届けしよう。

R racing	タイトル	アール・レーシング・エヴォリューション	ジャンル	レーシング
	発売元	ナムコ	価格	6800円(税別)
	発売日	11月27日発売予定	制作者	プロデューサー: 中村 勲
	開発	ナムコ	システム対応	PS3・XBOX360
ブロック数	未定	対象年齢	12歳以上	
その他				

レースマニアへの 挑戦状!

多機能ディスプレイとは
いったい何なのか!?

「R」には、多機能ディスプレイ(MFD)と呼ばれるマニアックなシステムが搭載されている。このMFD

は、走行中にリアルタイムでクルマの性能を変えられるという優れもの。変えられるのはスタビライザーやブレーキバランスなどだ。走行中に方向ボタンでセッティングしなければならぬため操作難度が高い。しかしコンマ数秒を追求するマニアには、挑戦しがいのあるシステムといえるだろう。

◀JGTCやラリーで走行中に行われているセッティングを、ゲームに初めて取り入れたシステムだ。



たとえばこんなセッティングが可能だ

1 ブレーキバランス

3 リアスタビライザー

2 フロントスタビライザー

4 ステアリングセンシティビティ



発売直前!
ゲームモードの詳細を
開発者に直撃!

中村勲 NAKAMURA ISAO
CTカンパニープロデューサー。ナムコ入社以来、レースゲーム一筋に励む。

寺本秀雄 TERAMOTO HIDEO
CTクリエイターグループゲームデザイナー。「リッジレーサー」シリーズ担当。

多機能ディスプレイは 現実にもあるシステム

— まず最初に、今回新たに紹介することになる多機能ディスプレイについてお話を聞かせてください。
中村 これは寺本のこだわりで採用されたシステムですね。
寺本 走行中にセッティングを変えられるという、マニアックなシステムです。正直言って操作はかなり難しいです。でも奇をてらっているわけではないんですよ。実際にJGTCやF-1でも入っている機能だから、取り

入れようと思ったんです。
「R」のコンセプトは「人」であって、ストーリーを追いながら誰もがレースの楽しみを感じられるような作りになっています。しかし奥が浅いとは言われたくない。究極を求めるマニアの方にも、こだわってどこまでも追及できる要素をに入れていこうと思ったわけです。
中村 レーサーの福田良さんがプレイしたことがあるんですが、すぐに理解して走りながらセッティングを変えていってました。わかる人にはわかるんだなあと思いましたね。

5つのゲームモードに誰もが納得!
クルマのチューンも可能!

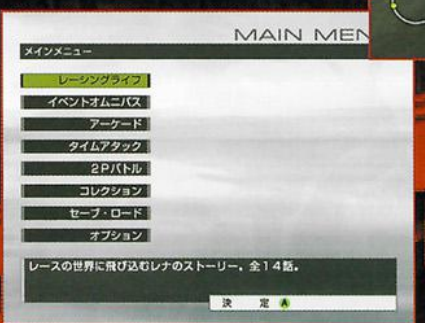
「R」には、おおきく分けて5つのゲームモードがあることが明らかになった。もっともメインとなるのが、ストーリー仕立てのレーシングライフモード。そのほかに、イベントオムニバス、アーケード、タイムアタック、2Pバトルがある。イベントオムニバスは、バラエティー豊かなレースが気軽に楽しめるスタイルだ。タイム、記録を目指して挑戦すれば、長時間のやりこみに耐える内容に仕上がっているぞ。このほかに、獲得したマシンをじっくり観賞できるコレクションモードなども存在する。



↑2Pバトルは、画面を2分割してふたりでレースをくり広げるモード。より高いRP取得を目指す、2Pポイントバトルなども楽しめる。

入門に最適!
レーシングライフ

→レーシングライフは「R」のメインとなるモード。難度は低めで、通してプレイすればさまざまな魅力を味わえる。



ゴーストカーとバトルも!

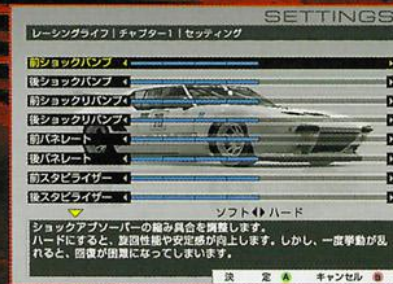
メインとなる5つのモード

- レーシングライフ** 全14話のストーリーを楽しみつつ走る、本作のメインモード
- イベントオムニバス** 160以上のさまざまな型式のレースが楽しめるモード
- アーケード** すぐに始められるゲームセンタースタイルのモード
- タイムアタック** 純粋にタイムを追及するためのモード
- 2Pバトル** ふたり同時対戦が楽しめるモード

自在に変更! レースまへのセッティング

レーシングライフモードなどのレースまへには、走行するマシンの細かいセッティングが可能だ。セッティングができるのは、前後サスペンション、スタビライザー、前後ブレ

ーキ配分、LSD、ABS、TCSなど。それぞれのセッティングにカーソルを合わせれば、変更の基本的な説明をしてくれるのでわかりやすい。極めたい人は存分にいじってみよう。



←↑セレクト画面では、ブレーキアシストのオン・オフや難度設定が可能。セッティング画面に入ればさらに細かく性能を変更できる。

RPでチューン&クルマの購入

RPとは、ゲームのなかで使用する通貨に相当するもの。RPはレーシングライフ、イベントオムニバスでクリアランクを獲得したり、ドライブングの内容が高く評価されると取

得できる。このRPを集めれば、イベントオムニバスのイベントやマシンの購入、チューンアップに使うことができる。美しい走り、効率よくRPを貯め込んでいこう。



↑カーショップもイベントオムニバスにある。クルマに必要なRPは高額だぞ。

初心者もマニアも
幅広く遊べるシステム群

—多機能ディスプレイはまさにマニアックなシステムといえますね。初心者の場合は、どんな手順で楽しむのがいいでしょうか。
寺本 メインとなるのはやはりレーシングライフモードです。そこにはサーキットもあればラリー、ドラッグレースもあります。これをひととおり楽しんでもらえば、さまざまなレースの魅力と最低限のテクニックは身につけてくると思います。

中村 それで物足りなくなったら、イベントオムニバスでとことんやりこんでください。ここには160以上のイベントがあって、いろいろなコースや設定で楽しめます。パイロンのあるコースを走るものもあるし、ライバルと戦うものもある。また、レース中に貯めたRPを使えば新しいクルマが買えるし、チューンもできる。すべて達成するのはかなりの時間がかかると思いますよ。セッティングを煮詰めないと最高タイムをたたき出すのは難しいでしょう。
—チューニングをすると、どんど

ん速くなっていくのですか。
寺本 チューニングの楽しみは十分味わえますが、それがクリアの前にはなってません。チューンしていない状態でもかなり速いので、イベントオムニバスのブロンズくらいだったらクリアしていただけますよ。
中村 個人的にはチューニングは速く走るといっても、レーサーが安心して攻められるように、好みに合わせるものだと思うんですよ。「R」ではそう考えたほうがいいのではないかと。自分の好みを搜してください。あえてデチューンすることもで

きるようにしてありますから。
—Xbox版の特典として、ハマーが特別に入っているのもいいですね。
中村 これは完全なお遊びです(笑)。しかし思ったよりはまりましたね。
寺本 お遊びといっても、ちゃんと本物のスペックは出ています。軍用ジープなんて、スーパーカーのように300キロは出ないし、てかくて重く、そしてろい。
中村 真上から見ると、黒い車体に緑の玉が乗っている。カラーリングはXboxそのものなので、「走るハード」として楽しんでください(笑)。



Xbox版だけの特典
それが"HUMMER"だ!!

HUMMER H1 OPEN TOP

『R』に登場するマシンと コースを一挙に公開!! Xbox版のみの特典も!

ここでは、登場するマシンとコースをまとめて公開していこう。これらのマシンは新旧取り混ぜて世界の名車からチョイスされており、特徴をもった個性的なクルマばかりだ。そのラインナップを見れば、作り手のクルマへの思い入れの深さが伝わることだろう。ゲーム中では、レーシングライブでイベントを達成した

り、RPを貯めてカーショップで購入することによって獲得できる。獲得したマシンは、コレクションモードでじっくりと観賞してほしい。そのグレードの高さが実感できるはずだ。また、走行するコースは10種類。イベントオムニバスでは、ここを舞台にさまざまな型式のレースイベントが行われることになる。

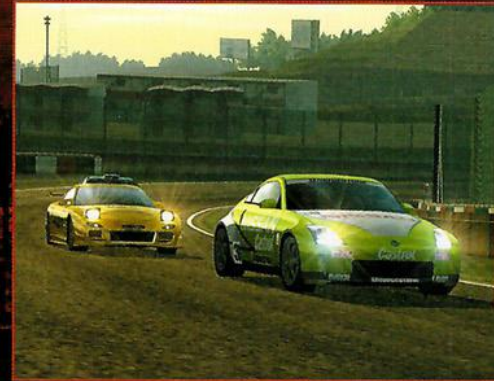
MACHINE マシン

車種は32種類プラス、Xbox専用のハマーが登場。イベントをクリアしたり、RPを貯めこんでゲットしていこう。

登場マシン一覧

クラス	メーカー	マシン名
GTクラス1	BMW	BMW M3 GTR
	BMW	BMW McLaren F1
	CHEVROLET	CORVETTE C5-R
	DODGE	VIPER COMPETITION COUPE
	Honda	TAKATA DOME NSX
	NISSAN	CALSONIC SKYLINE
	SALEEN	S7 R
	TOYOTA	ESSO ULTRAFLO SUPRA
	VOLKSWAGEN	W12
	GTクラス2	ALFA ROMEO
DE TOMASO		PANTERA GT5-S
DODGE		CHARGER R/T
Honda		S2000
LOTUS		SPORT ELISE
MAZDA		RX-7 R-SPEC
MITSUBISHI		LANCER EVOLUTION VIII RS
NISSAN		FAIRLADY Z
PEUGEOT		206
SHELBY		GT500
GTクラス3	SUBARU	IMPREZA WRX STI
	AUDI	TT COUPE 1.8T quattro
	Honda	INTEGRA TYPE R
	MINI	COOPER S
	TRD	VM180
プロトタイプクラス	AUDI	Infineon AUDI R8
	BENTLEY	EXP SPEED 8
	童夢	ADVAN KONDO S101

↓コースを優雅に走るフェアレディZ。納得のいく走りができたら、リプレイのムービーでじっくりと観賞して欲しい。



↑コースを疾駆するクルマには、巻き上げる砂の反射光まで表現され、リアルな車体の美が表現される。

クラス	メーカー	マシン名	クラス	メーカー	マシン名
ラリークラス1	FORD	FOCUS RALLY CAR	ドラッグクラス	RENAULT	ALPINE A110 RALLY CAR
	MITSUBISHI	LANCER EVOLUTION VIII RALLY CAR		DODGE	CHARGER R/T DRAG CAR
	PEUGEOT	206 WRC PROTOTYPE(1999)		FORD	FOCUS DRAG CAR
	SUBARU	IMPREZA WRX STI RALLY CAR		MAZDA	RX-7 R-SPEC DRAG CAR
	HUMMER	H1 OPEN TOP		NISSAN	FAIRLADY Z DRAG CAR
ラリークラス2	ALFA ROMEO	Giulia GTA Junior RALLY CAR	プライベートクラス	SHELBY	GT500 DRAG CAR
	FIAT	500 F RALLY CAR		ALFA ROMEO	Giulia GTA Junior
	Honda	INTEGRA TYPE R RALLY CAR		FIAT	500 F
	MINI	COOPER S RALLY CAR		RENAULT	ALPINE A110

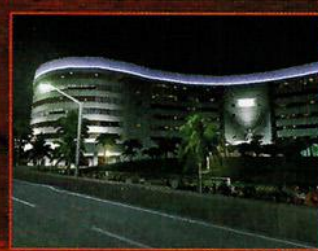
COURSE コース

戦いの舞台となるコースは全部で10種類。閉じたサーキットだけではなく、ラリーやドラッグのコースまで存在する。

登場コース一覧

名前	特徴
ウインドミル・ヒル	スペインをモチーフとしたラリー専用コース。
ウォーターブリッジ	スペインのラリーコース。水道橋が印象的。
グリーンフィールド	ウェットな雰囲気漂うイギリスのサーキット。
サーフサイド	ドラッグ専用、800メートルの直線コース。
ツインリンクもてぎスーパースピードウェイ	CARTも行われる国際的なオーバルサーキット。
フィリップアイランド	オーストラリアに実在する中高速のサーキット。
モナコ	F-1グランプリで有名な、実在の市街地コース。
ラリーアーナSS	ツイン走行のラリーコース。スペインが舞台。
横浜みなとみらい	実在の横浜を舞台にした仮想のサーキット。
鈴鹿サーキット	日本が誇る、5.8キロのテクニカルサーキット。

驚速のマイルレース サーフサイドコース



↑サーフサイドは、夜景が美しい直線コース。ドラッグの本場、アメリカを舞台にしている。刹那の勝負がこの場所でくり広げられる。



サウンドスタッフ大久保氏が語る エンジン音が奏でる名車の個性

—クルマのエンジン音は、実車の音をベースに作られているのですか。

大久保 実際にJGTCのレースなどで取材をしています。録音機材を車載させてもらったこともありますし、パドックの音も録らせてもらいました。しかしレース場に行ったときの大音量は、マイクで録ると割れちゃうんですよ。音量を下げてあとで聞いてみても、聞こえかたが違ってしまいます。そこでゼロからシンセサイズしたものと聞き比べて、実際には割

れていないけど割れているように聞こえる音を作っていました。

—現実の音をそのまま使ってもいい音になるとは限らないのですか。

大久保 そうですね。録ってきた音をそのまま鳴らしてもどこか違うんですよ。そこで実際のエンジン音を真似して作るのではなく、クルマの個性を重視して作っています。みんなのイメージってあるじゃないですか。このクルマのエンジン音はずぶとい感じとか、抜ける感じとか。実

際の音とは違うかもしれないけど、ユーザーにとって「そうそう、このクルマだからこの音がするよね」と感じられるように注意しました。

—曲についてはどうでしょうか。

大久保 BGMは、ゲームの映像を見てテンポ感を合わせることを心がけましたね。コンセプトは人なので、メカメカしいテクノじゃなくて、ハウスミュージックを中心に広げました。とくにレーシングライブでは、主人公の感情の盛り上がりに合わせて11曲を割り振っています。最初にプレイするときはぜひ、曲を選択しないで進めてみてください。その演出意図が伝わるとと思います。



大久保博

CTクリエイターグループサウンドクリエイター。[R]では効果音だけでなく、BGM全般をディレクションする。

細部まで作りこまれたボディを見よ!

NISSAN CALSONIC SKYLINE

日本のレースの歴史を語るのに、欠かせないドライバーは星野一義、そしてカルソニックスカイライン。



DODGE CHARGER R/T DRAG CAR

ドラッグレースでは、アメリカの60年代を象徴するダッジ・チャージャーが時代を超えてエントリー。



DE TOMASO PANTERA GT5-S

長い歴史を誇るデトマソ・パンテラ。すっきりしたボディのGT5-Sは1980年代半ばに登場した。



RENAULT ALPINE A110 RALLY CAR

1960~70年代のラリーフィールドで無敵を誇ったアルピーヌA110。WRCの草創期に活躍した名車だ。

Honda INTEGRA TYPE R

インテグラTYPE Rは、GTクラス3にエントリー。ホンダスピリッツが鮮やかにサーキットを駆け抜ける。



BENTLEY EXP SPEED8

2001年、71年ぶりにル・マン参戦を決めたベントレーを表彰台に導いたマシン。深い緑色がよく似合う。



↑英国を舞台にしたグリインフィールドだ。



↑モナコ名物のロウズ・ヘアピンもそのまま再現。

↓スペインのラリーアーリーナSSはツインコース。



↑オーストラリアのコースも登場。



↑鈴鹿コースは立体感がうまく表現されている。



身近な未来都市 横浜みなとみらい登場

↑もしみなとみらいでレースが行われたら、という想像のもとに作られたコース。リアルそのものだ。

